

林檎の森

りんごのもり

10
2021
vol.471



特集 1

第57回通常総会 ～全議案書面議決にて承認～

特集 2 46年の歴史に幕を降ろす

～ライスセンターの歴史を振り返る～

第57回通常総会

全議案書面議決にて承認

2年連続の書面議決にて開催

9月22日、JA本所大会議室にて第57回通常総会が行われた。

今年度は、長慶閣での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から公共施設が9月中には使用不可能であることから、書面議決にて行われ、全議案が無事承認された。



本所にて行われた通常総会

組合長挨拶

いつも当JAの事業にご理解とご利用ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策により、書面議決にて行われる事となりました。我々役員一同、今後も組合員からの意見要望がありましたら、対応して参りたいと思いますので今後もよろしくお願ひしたいと思います。

今年度を振り返りますと、コロナ禍により当JAが計画していた企画等が中止せざるを得ないことが多々あり、皆様にはご迷惑をおかけしております。

しかし、その中でも主力であるりんごの販売に関しては40億円を超え、りんご入庫数では前年比125%の80万箱超えと、おかげさまで販売面で良い結果を残せたのですが、組合員の皆様の目線から見ますと、一箱当たりの単価は早生種が好調でしたが、中生種から

の1箱当たりの単価を満足できる単価でお返し出来なかつた事が反省点だと感じていますので、今年産は満足して頂ける様に頑張っていきたいと思っております。

また、ジュース販売の方も好調ではありましたが、原料不足により原料の調達に苦慮しました。



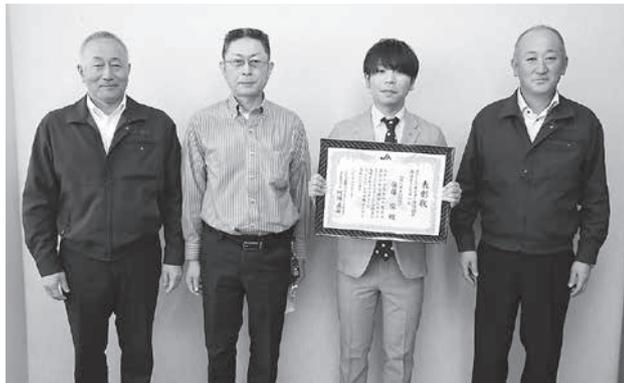
たわわに実った令和2年産りんご

金融共済課に目を向けますと、現在低金利時代という事でなかなか利益を出すことが出来ませんで

した。

しかし、地域の金融機関を守るために当JAは支店の統廃合を行わずに従来通りの3店舗で継続していく予定であります。

共済部門では、5年連続で青森県トップでの目標達成となりました。これも地域の皆様のご理解とご協力あつての事でございます。本当に感謝申し上げます。



共済部門でも優秀な成績を残した



感染対策を講じて開催した花と緑の市

購買部門では、例年並みの売り上げを残しましたが、スタンドと直売所に関してはコロナ禍もあり売上げを伸ばすことができませんでした。直売所に関しては昨年度に新店舗がオープンしましたが、残念ながら昨年比割れとなりました。大きいイベントや人が多く集まるイベントが組めない事から影響が出ているものと思っております。今後、感染防止対策を踏まえたイベントを考えて行きたいと思っておりますので、その際にはよろしく願います。



賑わった夏の大売り出し

各事業とも厳しい環境の中でありましたが、当期末処分剰余金で2億円程剰余があるといふことは、組合員の皆様のご協力があった結果であります。この場をお借りして御礼申し上げます。今後出資配当や事業利用配当をお返ししていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしく願います。



ライセンスセンター新設に係る説明会が行われた。

次年度としましては、先般行われました臨時総会にて承認されましたライセンスセンターの建設が進められております。当初の見積もりよりも安くすることが出来ました。全事業費が確定しましたら、何らかの方法で皆様に周知したいと思っておりますので今しばらくお待ち下さい。

今後、りんごの収穫作業等でお忙しいと思いますが、販売課と協力して良い販売が出来るよう尽力して参ります。同時に当JAの利用にも満足して頂けるよう精進して参りますのでよろしく願います。



女子職員一同より花束が贈呈された

お世話になりました。

9月22日の第57回通常総会をもって理事の職を辞する事にしました。任期を一年前に8年間本当にありがとうございました。

昨年末と4月末の2回病気により入院し、理事としての職務を続けることを断念致しました。大場組合長をはじめ、組合員の皆様にはお詫びと感謝申し上げます。

相馬村農協は小規模農協でいろいろ法的に制約もありますが、逆に小規模だからこそ出来る事が沢山あります。

これから大場組合長を先頭に素晴らしい相馬村農協を作ることがを祈念し、併せて皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

田澤 俊則

本總會をもって勇退された
田澤俊則理事からメッセージ

ライスセンターの歴史を振り返る



46年間支え続けてきたライスセンター



ライスセンター最後の稼働が始まる



ライスセンター新築記念に当時飾られたもの



かつて主流であった棒架での籾の乾燥

ライスセンターと取り巻く情勢の歴史
 昭和50年、9月に設立されたライスセンターは第二次構造事業の地域施設として、総事業費1億9096万円を投じて、稲作農家の集団に対して稲刈りから調整までの一貫作業を可能とするために新設された。当時は、大部分がバインダーによる刈取りと棒架による自然乾燥を行っており、乾燥の為の作業行程が多く、当地区のりんご栽培と労力がかちあうことから、刈取りから脱穀までの期間短縮はコンバイン導入とライスセンター建設以外には解決の方法がなかった。

そして、ライスセンター建設と同時にコンバイン17台と翌年51年に7台で計24台を導入し、近代化の道を歩むこととなった。

しかし、建設した年には7月中旬までの低温による分けつ不足やいもち病の激発、8月20日の集中豪雨により被害面積は51haに及び、減収と品質低下を引き起こした。さらに、ライスセンターでは高水分でかつ集中的に生籾が入庫される為、作業は夜の11時から12時までかかっていた。また、処理能力も当初予想の70%にとどまった為、53年に補完工事を施工し、全国で初めてライスセンターにグリーンサイロを併設した。補完工事により荷受け規制が緩和され、適期刈取り、適正な乾燥、籾摺りが可能となり、米質向上へつながった。

これと同時に、昭和53年には組合員の努力と適正な指導により全量一等米生産を初めて行うことが出来た。
 当初計画では目標総収量の1万5000俵であったことに対して実際には1万7078俵と、目標実績比約113%にも及んだ。



当時ライスセンターに全国で初めて建てられた約300t貯留できるグリーンサイロ

しかし、その後経済発展と共に食の多様化が進み、米の需要が減った事と、機械化による大規模化で生産過剰が続いたことで米価は年々下落し、水田から果樹への転換を余儀なくされた農家も少なくなかった。

平成11年、村内の11の稲作生産組合はオペレーター不足や機械の更新費用等により継続が難しいことから、組織を一本化し、「ライスマンクラブ」を発足。一つの行政区画を一つの組織で一本化したことは当時では全国的に珍しく、画期的な経営体系となった。

その後も、米の取扱量は減ったものの、平成28年産からスタートした特A米「青天の霹靂」の生産は、青森生まれのブランド米として高単価で販売され、昨今のコロナ禍の影響をさほど受けずに農家の手取り向上を後押ししている。

より良い作業に向けて

近年稼働しているライスセンターは建物および粉摺、乾燥機などのプラント施設の老朽化が進み、毎年多額の保守修繕費がかさむとともに、出荷前の均一した品質維持にも支障を及ぼしている。今後、相馬村地区の安心・安全なブランド米を維持する為に6億7100万円をかけ、全面更新を決めた。

今年産のライスセンター作業終了後すぐに解体に向けて動き始め、令和4年産米の刈取り前の完成を目指す。

今後、新ライスセンター建設により、安心、安全な品質の向上と、ライスマンクラブをはじめとする地域の稲作農家の意思を継承し、リンゴ栽培にも更に力を注げることが出来るように、努力して参ります。

～46年間の思い出が詰まった機械～



中枢操作が可能な操作盤



16個ある貯留瓶で乾燥を待機する籾



現在も現役で動いている大型掃除機



年季の入った切り替えワイヤーが並ぶ

topics

青天の霹靂
刈り始めまる

01

9月13日から、ライスロマンクラブの稲刈りが東部班から始まった。

今年の田植えは、牡丹斑から始めたが、管内の登熟状況を踏まえ、生育の早い東部班から稲刈りを行った。

佐藤喜久男組合長は、「今年は圃場の足場が良く、順調に作業が進んだ。今年も多くの人に相馬産米を食べてもらいたい」と話していた。



黄金色の田んぼをコンバインが駆け回る

topics

職員が
スピード選果に協力

02

9月6日から当JA職員によるリンゴ詰め作業応援が始まった。

初日は「つがる」が選果され、汗を流しながらダンボールやイフコンテナなどにりんごを詰めていった。

作業した職員らは「この作業をりんごの選果が終わるまで行うのは大変な作業だ。毎年入庫されたりんごを選果する作業員や作業応援に来てくれる大学生のおかげで選果が進んでいるんだと感じた」と感想を述べていた。



リンゴ詰め作業に奮闘する職員

topics

適期収穫を呼び掛ける

03

9月17日、中南地域県民局地域農林水産部は、坂市地区の三浦均さんのりんご園地にて適期収穫キャラバンを行った。

呼びかけを行った園地には収穫間近の「トキ」があり、県民局職員は黄色品種のカラーチャートを手渡して適期収穫をお願いしていた。三浦さんは「消費者に最高のりんごを届けたい」と意気込んでいた。



カラーチャートを受取る三浦さん

topics

ベトナム向けりんご
収穫前検査

04

9月22日、ベトナム向け輸出に係る中生種の収穫前の防疫官検査が行われた。検査には植物防疫官の検査員と農業振興課員2名の計3名で、10人の生産者の園地を回り、病害虫の有無や正しく袋がかかっているか等の検査を行っていた。

輸出を行う生産者は「安心安全なものを届けるのはもちろんの事、そのための農場管理をしっかりとしたい」と話していた。



防疫官が隅々確認し、輸出に備える



関係者が見守る中初検査が行われる

9月28日、ライスセンター倉庫にて今年産米の初検査が行われ、大場勉組合長はじめ、ライスロマッククラブや全農あおもり関係者等が見守った。

大場組合長は「現在厳しい米情勢ではありますが、今後新設されるライスセンターの建設により管内の稲作を絶やさず、満足して利用して頂ける様に努めていきたいと思えます」と挨拶した。

その後行われた青木の霹靂の初検査では全量一等米に格付けされ、関係者は喜んでいました。

topics

今年も一等米格付け

05



ポスターは本所入口にて展示している

9月30日より、本所事務所入り口に弘前市立相馬小学校の児童3、4年生の児童12名の「あいさつ運動ポスター」が飾られている。

金賞を受賞した3年生の寺田大晟君は「金賞をとれると思ってなかったので受賞出来てとても嬉しい。みんなで作ったポスターで周りが明るくなつてほしい」と話していた。

このポスターは他に、御所温泉や星と森のロマントピアに飾られている。

topics

挨拶で
地域を盛り上げよう

06



葉取作業に夢中な初参加のJAL援農者

10月1日、大助地区の佐藤喜久男さんの園地にて日本航空株式会社のパイロットの有志らが葉取り作業に汗を流した。

JALの援農ボランティア作業は去年に引き続き行われ、10月11月上旬にかけて、少人数で行われる予定である。

今年も参加したこのJAL援農ボランティアの発起人である小山浩司副操縦士は「こうしてまた援農に来ることが出来て嬉しい。作業を終えてみて、リンゴの事について多くの人達にも知ってもらいたいと感じた」と話していた。

topics

JALの援農ボランティアが
今年も始まる

07

金融共済課からのお知らせ

いつも当JAをご利用頂き感謝申し上げます。

今年の年金友の会「相幸会」忘年会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、**開催中止**となりました。

また来年、会員の皆様にご会えることを心から楽しみにしています。





青年部では、9月7日にもち米の刈取りを行った。

5月に植えたもち米は、出穂前に稲が一部倒れてしまう状態が確認されたことや雑草が生い茂る等のアクシデントがあったが、その後は問題なく生育し、当日には綺麗な黄金色になっていた。

それを見た役員らは「植えた当初は生育が心配だったけど、排水を良くするために行った溝切りや



黄金色に色付いた稲穂が部員の目を引き付けた

水抜きを例年よりも早く行つたなど話し合つて決めた事が功を奏した」と話した。

作業は畦畔の草刈り班と波板外し班などに分かれて行われ、その後メインイベントの稲刈りが行われた。

稲刈りは例年通りのコンバインで刈取り、用意したフレコンバックに籾を降ろした。まだ詳しい量は分からないが、昨年よりも少ない収穫量であった。穂を見た限りでは今年も収量がありそうと意気込んでいた部員らは、稲刈を終えてみて驚いた表情を見せていた。

作業を終えて宮川貢彦青年部長は「収量が若干少ないものの、無事収穫を終えることが出来た。今年こそは相馬ごども園の餅つき大会も行いたいし、多くの地域の人達に自分たちのもち米を食べてもらいたい。そのためにも今後の出荷までしっかりと管理していきたい」と意気込んでいた。

今年も青年部のもち米販売します!!



今年の青年部のもち米も立派に育ちました。
今年も予約を承ります。
通常販売よりも単価はお安くなっております。
詳細は後日お知らせ致します。



いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



女性部では、8/20(金)西目

屋村にあるBUNACO(ブナコ)西目屋工場へブナコ制作体験に行ってきました。西目屋工場は、旧西目屋小学校をリノベーションして2017年4月にオープンした所です。

ブナコは青森県の豊富なブナ資源を有効活用するために生まれた木工品で、昔、ブナは使えない木と言われていたそうです。漢字にすると『榲』と書くほど。ですが逆に水分が多いので粘り強い・弾力性がある・曲げに強いという特徴を活かし、ブナを約1mmの厚さにスライスし、テープ状にカットしたものを巻き重ねて成型していくという、世界的にみても他にないユニークな製法で作られていることがわかり、ワクワクドキドキしながら、各々、思い思いの形に作りあげていました。

今回制作したブナコは、食器として使用できるように、何層にもコー



熱心に講師の指導を受ける田沢真由美部長



お椀を使い湾曲を創る



下書きでは間違いなかったのに…

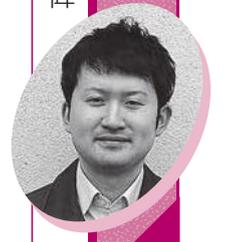
ディングし、3週間ほどで出来上がりました。
仕上がりをお届けして皆さんに喜んでいただけただけのほか、自分で制作したブナコの底に日付けや名前など、思い思いに手書きをしたのですが、ある方からは、今年3人の娘が同時に出産ラッシュを迎え、孫の名前と制作日を記念で書いたら、『孫の名前も漢字も西暦を間違えている！』と娘からダメ出しのメッセージが…
それも良い思い出となったことでしょう。



完成したブナコを手に記念撮影

果実販売動向

販売課 田中瑠偉



毎日の農作業お疲れ様です。

9月の果実動向は数量減の単価高で推移しました。ブドウについては、シャインマスカット・巨峰中心の販売のなかで、売場が広く確保されていることから全般に引き合いの強い状況が続き、特に黒系ぶどうについては、雨の影響による裂果等により総体量が少なく高値基調の販売となりました。

梨についても、総体量が少ないことから高値基調で推移していましたが、これまでの高値の反動により荷動きが鈍化し、入荷量が減少するもの大玉中心に価格は下げ基調での推移となりました。

桃については青森県産川中島白桃が終盤を迎え、入荷の減少とともに売り場の縮小が進みましたが、売場維持に向けた安定した引き合いや、中秋節需要から大玉を中心に堅調な販売となりました。

ミカンについては、極早生みかんがスタートし、潤沢な入荷から

量販店中心に売り場拡大が進められ、概ね高値基調で推移しました。

一方、野菜については、北海道は初夏の干ばつ、西日本中心に長雨と日照不足による影響から生育不良や病害虫が多発し、入荷量が激減したことから、価格は軒並み上昇しました。

りんごについては、4月の凍霜害等の影響により総体量が少ない見込みで、サンつがるについては他県産が早めに切り上がったことや、値ごろ価格での販売企画でスタートしたことから売場拡大がすすめられ、引き合いの強い状況となりました。産地市場では9月2週目から品薄傾向となり、近年にはない尻上がりとなりました。

トキ、早生ふじについては、未熟果の流通を抑制するために3週目からの取り扱いとなりましたが、堅調価格で推移しました。

りんごの動向は昨年とは正反対となっております。当JAでは9月

末より台湾向けのトキが順調にスタートしています。

香港向けについては、8月末から出荷されたきおうにビターピット等が多発し、流通が滞っていることから、10月からのスタートとなります。

今後、早生ふじ系を中心にピークを迎えますが、総体量が少ないことや、他県産の切り上がりが早く、売場も確保されていることから、概ね保合いでの推移が予想されます。2021年産りんごは全国的に減収との予想から、下位等級品まで企画販売に取り組むことにより相場の底上げを図ります。



早生ふじの選果が終盤を迎えている

品 種	サンつがる	早生ふじ	トキ	きおう	その他	合 計
単 価 (円)	2,797	4,059	2,956	2,677	2,758	2,792
前 年 比 (%)	92	—	—	88	79	91
数 量 (箱/10kg)	751,587	9,141	10,847	137,097	47,974	956,646
前 年 比 (%)	116	—	—	87	92	111

直売所「林檎の森」

直売所 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。たくさんのお客様で賑わっていた「嶽きみ」の販売も終了しました。一方で、直売所には秋の味覚がたくさん出るようになりました。栗やサモダシ、マイタケ、ハタケシメジ等この時期に大人気の商品ばかりです。

その他、果物だとラフランスや、ゼネラルレクラーク、日面紅などの洋ナシや豊水や南水、長十郎などの和梨、巨峰、スチューベン、シャインマスカットなどのブドウ等多くの種類の果物が入荷しています。野菜についてはかぼちゃが沢山出ています。栗力ポチャや坊ちゃん力ポチャ、白色の力ポチャなど様々な力ポチャがでてきます。

10月に入りだいぶ寒くなってきました。体調管理にニンニクや緑黄色野菜の人参、カボチャ、ナンバなどが良いでしょうか？

ほかに大根やキャベツ、白菜

なども出てくる予定です。是非お立ち寄りの際には、お買い求めください。スタッフ一同お待ちしております。

「林檎の森」からのお願い

会員の皆様にお願いがあります。特に梨やリンゴといった果物に多いのですが、一度の出荷で大量に持ってきましてしまうと陳列棚にたくさんもりあがってしまい古いもの下になったり押しつぶれたりして腐敗しているものも多く見受けられます。出荷の際に出す量も考えて出荷していただけると助かります。そのほかに古くなったものや痛みや腐敗のあるものは徹底して引き取りをお願いします。

※会員のほうで引き取りがない場合、通知せずにこちらで処分させていただきます。



様々な加工方法がある山ぶどう



珍しい旬のカボチャが並ぶ



栄養素が豊富な森の幸とも言われるキノコ

食欲の秋を彩るスーパーフード
10月はキノコが一番消費される月とされています。旬であると共に、食物繊維やミネラル、ビタミンが豊富で、冷凍や乾燥をする事で旨みや栄養素を増やすことも出来ます。人間にとってもスーパーフードですが、落ち葉や倒木を分解するなど、地球にとっても優しい種類のキノコがあります。今が旬のキノコを是非ご賞味して楽しんでみてください。



○りんご作業（10／15～11／15）

りんごの作業では、中生種の収穫や晩生種の着色管理が最盛期となっています。

収穫が早すぎると貯蔵中のビターピットの発生が多くなり、遅すぎると油上がりや果肉の軟化の原因となります。地色の抜け具合を確認し適期収穫に努めましょう。

収穫時期に悩んだ場合には、農業振興課に相談いただければ調査に伺います。

収穫した果実は、鮮度保持のために、できる限りその日のうちにJAへの入庫をお願いします。また、りんごの盗難が多くなる時期となりますので、園地での野積みは絶対にやめましょう。

○積雪前の野ネズミ対策

例年、冬の根雪の期間に野ネズミの被害に悩まれている方も多いかと思います。そこで今回は雪が降り始める前の耕種的防除を紹介

紹介します。

●野ネズミ被害を受けやすい園地の特徴としては、園地が汚れていることが挙げられます。特に野菜などの畑作物を付している所では、それらの残さをきれいに片づけ清耕にするようにしましょう。

また、草生、敷草等を行っている場合は、野ネズミが巣を作りやすいので、積雪前に幹の周囲を清耕にして野ネズミの巣を壊す又は、巣を作るのを防ぎましょう。

●樹幹に対する野ネズミの被害は、成木よりも若木に多く、苗木及び若木に晩秋に地上1m位の高さまで（積雪の多いところでは更に上まで）樹幹に割竹、杉葉、金網、肥料等の空袋、合成樹脂のプロテクターなどの被覆材料を巻きつけましょう。

○効果的な殺そ剤の使用法

殺そ剤は、園地が隣接する農家と共同で広範囲にわたって一斉に実施する事でより効果的に被害軽減が可能です。また、野ネズミの穴や通路穴に殺そ剤を投入する際には、土手や園内など雑草が茂っているところを重点的に行いましょう。

○忌避剤による対策

樹冠下への処理アンレスは10倍液を樹冠部に塗布または散布しましょう。

▽苗木を植えた園地や、例年野ネズミの被害に悩まされている方は積極的に耕種的防除を行い被害軽減に努めましょう。

※今後は、本格的に収穫作業が忙しくなります。朝晩は冷え込みますので体調管理にも十分注意しましょう。ハシゴや機械を使った作業を行う際は、機械点検や身の回りの安全を確認したうえで作業を行い事故防止を心がけましょう

JAで取り扱っている資材

商品名	特徴	価格
ヤソチオン (5g×100袋入り)	小袋詰めをソ穴に投入するか、野ソの通路に設置する。	682円
ZP (1kg入り)	10aあたり10~40か所に適宜配置する。	1,100円
粉末ラテミン	穀粉、ドックフードなどにまぶし、10aあたり250~750gの割合で、ネズミ穴や通路に投入。または、適宜配置する。	1,133円

地域おこし協力隊 活動記 Vol.77



山田集落センターに、赤いのぼりが出たら移動販売の日の目印です！
(写真上段→)

たくさんの商品が並びます！
一番人気は各種パン類☆
(写真中段・下段↓)

移動販売車ご担当の方と佐野。
(写真中央↓)



お会計に列ができる事も！
(↑写真上段)

男性のお客様も結構お見えになられてますよ☆
(↑写真中段)

ご来店の方々との会話も、毎週楽しみです。
(←写真下段)



こんにちは！ 協力隊の佐野です。

8月31日(火)から、山田集落センターにおいて『セブ
ンあんしんお届け便』を開始致しました。

モデル地区として山田地区にて始まったこの事業ですが

- ① 近所に商店が無く買い物が困難な高齢者の方々の支援
- ② 農繁期における地区住民の買い物の利便性の向上
- ③ 地区内の賑わいや町会員同士の会話・コミュニケーションの創出
- ④ 販売員と対面し実際に自分の目で商品を選び購入する事で買い物の楽しさを創出
- ⑤ 佐野の今後の起業に向けての地区内のニーズを調査を主な目的として、セブンイレブン西弘店にご協力いただき行っております。

商品ラインナップも豊富で、常温品ではパンや袋菓子、カップ麺など、冷蔵品では牛乳やヨーグルトの乳製品、セブンスイーツ、納豆やお豆腐、そしてお弁当やサンドイッチ、「金のシリーズ」のお惣菜などを、また冷凍品では、アイスや冷凍食品を取り扱っております。

当面は、毎週火曜日の12時～12時40分頃まで、山田集落センターにセブンイレブンの移動販売車がまいりますので、ご活用になってみてください！

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。ママシとオンベと油売りが居てゴダグを並べている。

油売り「困ってしまったじゃ」

ママシ「何や」

油売り「孫の、学校の成績が良くてよ」

オンベ「ソレや、ホントに困ったものだよ。大学サ入って家に居なくなるよ！ 西郡の或る村の地主の子供が、五所川原の農学校を落第して退学し、家に帰って農業をやり、農協長になり、村長を十期四十年続けた人もあるんだ」

ママシ「上の学校へ入ることばかりが良いことではないな」

オンベ「そつだ。例えば竹内俊吉や渋谷悠哉は中学校に入っていないよ。衆議院議員だった森田重次郎氏（上北町）は師範学校を出ただけで弁護士になったよ」

油売り「未だある。平川市の鳴海助一先生は小学校を出ただけで、中学校の校長になった人だが、若いとき、例えば田の草取りのとき、

本を二冊、一冊を片方の畦道（田のくろ）に、一冊を反対の田の畦に置いて——だったそつだ」

オンベ「津島知事時代に県の出納長をつとめた福士重太郎氏も小学校を出ただけで青森警察署長——県の三役の一人である県出納長になっているよ」

油売り「田中角栄も高等小学校だけの人だ」

× × ×

農協に某監事が入って来た。某女性職員が「シーン、お早よう」と言ったら、監事「シーンとはなんだ」と怒った。この二人、農協学園の同期生で、教室の中でも「シーン、シーン」と呼ばれていたのである。シン君は「ワ（吾）将来、組合長になる」と言っていたものだ。

9月25日 記

三無

煙草を愛する人に

長寿者ナシ

花を愛する人に

悪人ナシ

片手な人に

友人ナシ

義

編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」のご講読ありがとうございます。
 今月号では最後のライスセンターについて特集を書かせていただきましたが、相馬地区の稲作の歴史を勉強することが出来ました。とても苦勞されてきた方が沢山いたことを感じて、これからの相馬地区の稲作に力添え出来たらなと思っています。
 コロナワクチンの接種率も増加し、人の移動が多くなってきていますが、引き続き感染対策をして楽しみましょう。来月号もよろしくお願い致します。
 By tomoshi

理事会だより

9月17日(金)

- 1) 8月末残高試算表について
- 2) 組合員の名義変更について
- 3) 令和3年産米共同計算取扱要領及び米概算金等の設定について
- 4) りんご販売関係について
- 5) 固定資産の取得について
- 6) ライスセンター建築工事入札契約方法について
- 7) ライスセンター建築工事入札指名業者の決定について

- 21 20 19 17 15 13 11 9 7 6 5 3 1
- メタカモタイもサメもこれ
 みそ汁によく入れる海藻といえば
 水面に糸を垂らして楽しみます
 紙幣や硬貨を入れます
 鶴は千年、亀は——
 バナナの木は、本当は木でなくて——なのだ
 とか
 鳥が羽ばたかせるもの
 林より木が1本多い
 葉が黄色く色づく街路樹
 ——がびょうぶに上手に——の絵を描いた
 だんだん深まって冬に向かいます
 11月3日は——の日。国民の祝日です
 画家・ムンクの代表的な作品

【タテのカギ】

パズル？ 頭の体操

出題 ニコリ

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

- 18 16 14 12 10 8 6 4 3 2 1
- 別名は甘藷(かんしょ)。大学芋の材料です
 せき止めに良いといわれるバラ科の果実
 エックスとゼットの間
 ——はあざなえる縄のごとし
 酢、しょうゆ、みりんを合わせて作ります
 おでこに手を当てて測ることも
 搾り汁から黒糖が作られます
 海の——、山の——をふんだんに使ったごち
 そつ
 プレゼントに掛けて結びます
 東の空が明るくなってくるころ
 さなぎや幼虫から成虫になること

【ヨコのカギ】

1	5	7		13		20
2				14	17	B
		8	11		18	
	6			15		
3			12			21
4		9		16	19	
		10				E

答えは広報「林檎の森11月号」にて掲載いたします。
9月号の答え A:タ B:イ C:イ D:ク E:サ F:イ

表紙物語

今月の表紙は、1日バイトアプリ「day work」を活用する生産者の様子である。9月24日に行われた求人者向け説明会では、当JA管内のリンゴ生産者3名と関係者らが参加した。「day work」はスマートフォン向けマッチングアプリであり、農業の仕事を1日単位で募集及び応募ができ、全国各地で利用者が拡大中だ。

求人者掲載した生産者には次々に求職者が応募しているのが現状であり、補助労働力不足解消に向けてより多くの皆様に利用して頂きたいところだ。

この説明会に参加した生産者からは「1日単位で求人を出せるのはありがたい。未経験者や覚えの早い若い人たちにも期待したい」と話していた。

この取組については翌年12月頃まで試験運用期間としており、今後の実績等を検討して本格的な導入の可否を決める見通し。



説明会ではレクチャーを受けながら生産者がアプリを登録した



集合場所もわかりやすく表示



労災又は共済必須



各種設定も簡単



求人画面

JA相馬村広報

りんごの森

2021.10 Vol.471

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2021年10月15日

JA 相馬村概況

〈令和3年9月末日現在〉

組合員数	865人
(うち准組合員数)	374人
出資金	618,210千円
貯金額	9,926,872千円
共済保有高	3,221,194万円